

1 はじめに

- 人間学科の在籍者には、卒業までに一定の条件により特定の科目の履修が求められていますが、その他の科目については、各 Semester および 4 年間に於ける各自の学修の目的に合わせて選択、登録し、履修していくことになります。
- 卒業後の進路とそれに見合った履修計画を綿密に立てていくことが必要であり、在学中、次の Semester に進む際に、履修が有効に行われているかどうかを確認することが、きわめて重要となってくることは言うまでもありません。そのために、1 年次にその後の 4 年間の履修の方向性を自らの意志で決定しなければなりません。指導担当教員と相談しながら、個々人が 4 年間の履修計画を立てることが大切です。

2 カリキュラム・ポリシー

- 人間学科の教育課程は以下の方針に基づいて構築する。
- ① 人間および人間が創り出したさまざまな文化を多面的に理解し、幅広い視野と知識を身につけるために、思想・心理・社会・倫理・教育という 5 分野横断型カリキュラムを編成する。
- ② 思想・心理・社会・倫理・教育の各分野をより深く論理的に考察する能力を育成するために、分野ごとに専門的科目を設置する。
- ③ 人間の多様な側面に対する関心を持てるように、学際的な科目を設置する。また、獲得した知識や考察の結果を進んで社会における実践に結びつける応用力を身につけるために、体験型授業を設置する。
- ④ 人間の個性の多様性を尊重する高い倫理観やチームワーク力を育成するために、少人数グループの参加型授業を実施する。
- ⑤ 外国語の文献や資料を正確に読む能力や、国際的視野で物事を探究する能力を養うために、外国語文献を用いた科目を段階的に設定する。
- ⑥ 自らの考察結果を口頭または文書で的確に表現する力を身につけるために、演習形式の授業を導入から専攻へと発展的に編成する。
- ⑦ 教職課程を履修する学生については、学科専門科目で教科に関する知識を深めることと並行して、1 年次から「教職関連科目」を履修し、教職に就くために必要な知識と姿勢を確実に、早い段階から、身につくことができるようにする。

3 卒業要件

人間学科では、以下の6つの条件を卒業要件として定めています。

(1) 修業年限を満たすこと	
(2) 全科目の修得単位の合計が124単位以上であること	
(3) 累積GPAが2.00以上であること	
(4) ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目および必修選択科目を修得していること	
〈必修科目〉	玉川教育・FYE科目群：教職課程受講者以外・教職課程受講者 ともに、以下の科目を修得していること。 「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」 「音楽Ⅱ」
〈必修選択科目〉	以下の各科目群から必要な単位数を含み、教職課程受講者以外 は20単位以上、 教職課程受講者 は14単位以上を修得していること。 人文科学科目群：教職課程受講者以外 は4単位以上、教職課程受講者 は2単位以上 社会科学科目群：教職課程受講者以外・教職課程受講者 ともに4単位以上 自然科学科目群：教職課程受講者以外 は4単位以上、教職課程受講者 は2単位以上 学際科目群：教職課程受講者以外 のみ2単位以上 言語表現科目群：教職課程受講者以外・教職課程受講者 ともに6単位以上
(5) 学科科目について、教職課程受講者以外・教職課程受講者 ともに、次の必修科目を修得していること	
〈必修 1〉	100番台科目：「人間と思想」「人間と倫理」「人間と心理」「人間と教育」「人間と社会」
〈必修 2〉	200番台科目：「名著講読」「プロゼミナール」
〈必修 3〉	300番台科目：「人間学演習A」「人間学演習B」
(6) 学科科目について、次の必修選択科目を修得していること	
〈必修選択 1〉	以下の科目から 教職課程受講者以外・教職課程受講者 ともに18単位以上を修得していること。 ユニバーシティ・スタンダード科目（教職関連科目群）：「教育心理学」 200番台科目：「哲学概論」「倫理学概論」「教育の思想と文化」「宗教哲学」 「西洋哲学思想史」「生命倫理学」「セクシュアリティの教育」 「法律学（国際法を含む）」「政治学（国際政治を含む）」「人格心理学」 「社会心理学」「生涯発達心理学」「心理学研究法A」「人間関係論」 「学習の理論と応用」「人間学総合セミナー」「現代文明論」 「マスメディア論」「人間学特殊研究」
〈必修選択 2〉	以下の科目から 教職課程受講者以外 は12単位以上、教職課程受講者 は4単位以上を修得していること。 300番台科目：「現代思想」「宗教的人間学」「教育的人間学」「現代社会と倫理」 「ジェンダー論」「健康科学論」「臨床心理学」「死生論」「心理学研究法B」 400番台科目：「人間学演習C」「人間学演習D」「卒業研究（論文）」
〈必修選択 3〉	以下の科目から 教職課程受講者以外・教職課程受講者 ともに2科目より1科目（2単位）以上を修得していること。 300番台科目：「学際的人間研究A」「学際的人間研究B」

教職課程受講者以外・教職課程受講者 はp.60の単位数を参考にしてください。

4 卒業までの単位配分

- 卒業までに必要な単位数は、第1セメスターから第8セメスターまで、合計124単位です。
その内訳は次のとおりです。

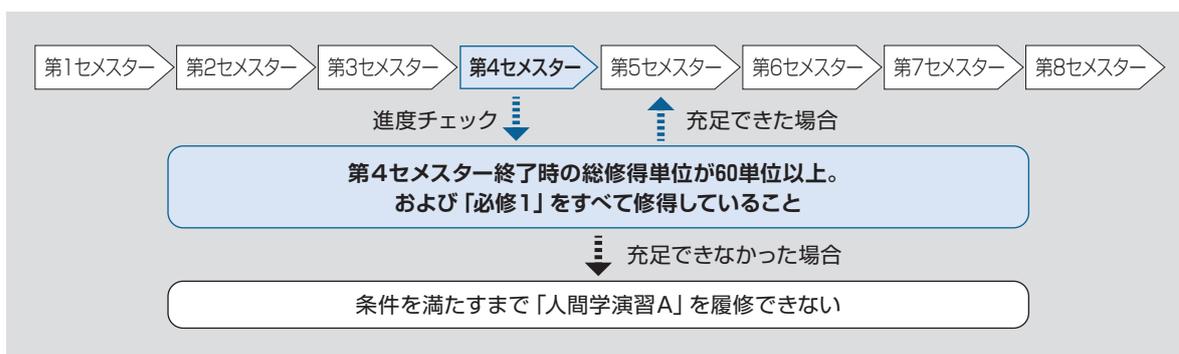
科目群	科目分類	教職課程受講者以外	教職課程受講者	
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE科目群 必修	7	7	
	人文科学科目群	4以上	2以上	
	社会科学科目群	4以上	4以上	
	自然科学科目群	4以上	2以上	
	学際科目群	2以上		
	言語表現科目群	6以上	6以上	
		小計20以上	小計14以上	
人間学科科目	100番台 必修1	10	10	
	200番台 必修2	4	4	
		必修選択1	18以上	18以上
	300番台 必修3	4	4	
	300・400番台 必修選択3	2以上	2以上	
		必修選択2	12以上	4以上
		小計50以上	小計42以上	
自由選択科目	自学科、文学部共通、他学部、他学科、ユニバーシティ・スタンダード科目の余剰単位	任意	任意	
累積修得単位		124以上	124以上	

※教職課程受講を許可されなかった場合、または受講を辞退した場合、卒業要件として教職課程受講者以外の必要な単位数を満たす必要がある。

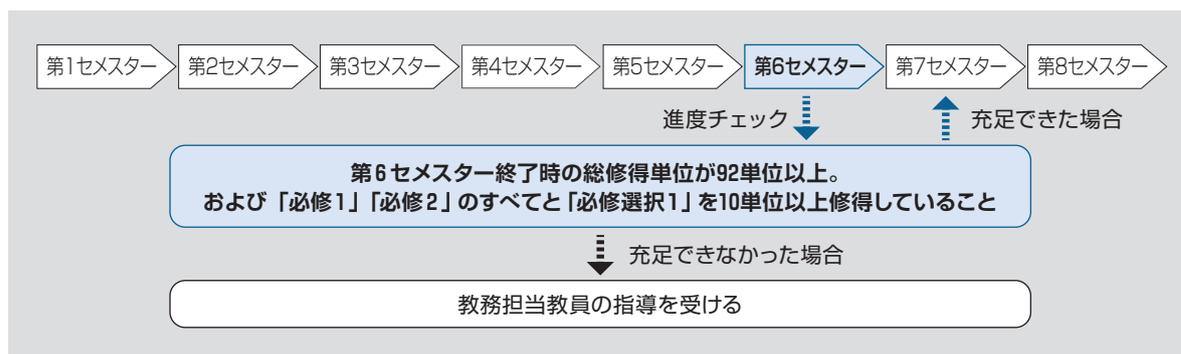
5 学修継続条件と履修条件（進捗チェック）

- 本学では全学部に通ずる「学修継続条件」を定め、これを満たせない学生には「警告」が出されます（p.33を参照）。
- 人間学科ではさらに、一人ひとりの学生の学修状況が学士課程の修了に向けて適切に進んでいるかをチェックするために、下図の通り、第4セメスターと第6セメスターの終了時に「履修条件」を満たしているか否かの進捗チェックを行っています。
- 履修条件を満たさない場合には、次セメスターの必修科目を履修できないなどの制限が生じますので、十分に注意してください。

① 第4セメスター（2年次）終了時における進捗チェック



2 第6 Semester（3年次）終了時における進捗チェック



6 履修上の留意事項

- ① 履修登録は、ガイダンスを受け、教務担当教員および担任の指示に基づいて行ってください。
- ② クラス指定や人数制限のある科目もあります。
- ③ その他の履修上の留意事項については、教育課程表の「履修にあたって」（p.63）を参照してください。

7 取得可能な資格

- 人間学科では所定の科目の単位を修得し、また所定の条件を満たすことで、資格を取得することができます。詳細は、本履修ガイドp.201以降を確認してください。

8 教職課程受講上の留意事項

- ① 教職課程受講条件については、「教職課程受講ガイド」を参照してください。
- ② 人間学科教職課程の受講を許可された学生が途中で受講を辞退した場合、あるいは教職課程受講を許可されなかった場合、教職課程受講者以外の課程に戻り、所定の卒業要件を満たす必要があります。その際、単位修得状況によって卒業時期が遅くなる場合もあるので、教務担当教員および教職担当教員と相談しながら、履修計画を立てることが大切です。